

## 研究室の近況

2025 (R7) 年度, 学部4年生が5名, 博士前期課程学生1年生が2名, 2年生が5名, 社会人ドクターが3名, 研究生が2名 (計17名) が所属し, 3月25日には, 学部生5名が卒業 (うち3名が大学院に進学), 大学院生5名が修了しました. 中山義晴氏が“熊本県における橋梁の保守管理マネジメントの効率化に関する研究”と題する一連の研究により, 博士 (工学) の学位を取得されました. 後期には, インドネシアから2名 (~2026.3), ドイツから1名, フランスから1名の特別聴講学生を受け入れました. 佐合氏が国際会議BEIにて発表しました.



## 工事現場等への訪問 (不定期)

着々と復旧工事が進められている球磨川の工事現場を訪問しています. 沖鶴橋のクレーン架設, 鎌瀬橋のケーブル架設, 球磨大橋ほか. 牛深ハイヤ大橋, 新阿蘇大橋など.

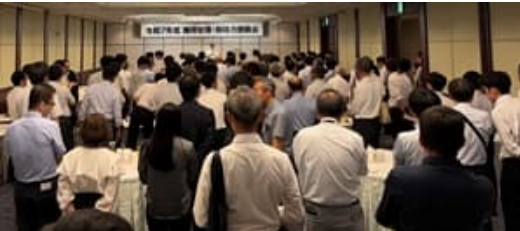


**JSBC2025 (9/4-6)** 名古屋大学で開催されたジャパンスチールブリッジコンペティションへ, 3年生含め9名が参加しました. 切断機, 溶接機, 孔明け機を実験室に新規に導入し, 新しい接合構造を採用するも残念ながら今年も受賞には至らず. 次回大会 (2026.8/25-27 @ 福井県営体育館) は, 初のアジアブリコンとの共催です.



## 土木学会全国大会 (9/2-6)

21年ぶりに土木学会全国大会が熊本大学と熊本城ホールの2拠点で開催され, 松村先生は講演会部会長として, 渡部先生はHP担当として準備・運営に携わり, 学生はアルバイトとして当日の運営を補助しました. 大会期間中には, 維持管理・耐荷力懇親会を主催し, 約140名の方々に参加いただきました.



## ゼミ旅行 (3/16-17)

4回目となるゼミ旅行は, 佐賀県佐賀・長崎県雲仙を巡りました. ヒノデ水道様の工場・研究所を見学させていただきました. 2日目には, 1991年の雲仙普賢岳の火山災害, その後の砂防事業等を見学しました.



## その他

10周年を迎えた ART & ENGINEERING 架け橋プロジェクト (宇土・八代・玉名中学校) は残念ながら2025年が最後の開催でした.



熊本市とも連携して, 熊本工業高校にて出前講義を行い, 若い世代へ土木や構造物のおもしろさ, 土木の大切さをアピールしています.

## 構力研同窓会 (10/18)

午前中: 山尾先生にご尽力いただき熊本城宇土櫓の構築現場 (約40名), 夕方: くすのき会館 (約60名) にて開催しました. 次回は2027年にお会いしましょう.



## 2026年イベント等の予定 (HPを参照ください)

**熊本減災フォーラム (9月)** (一社) 熊本県法面保護協会, (一社) 熊本県地質業協会との共催

**くまもとサイエンスカフェ (年10回程度)** ぶらタモリ風に自然と防災を学ぶ, 一般向けのイベントです. 熊本地震から10年の今年, 5月の連休 (4/29, 5/2-6) には旧立野小学校にて, 3回の講演会 (要申込), 展示等開催します.

**橋のあり方研究会 (年2回程度)** 昨年度より橋をテーマに集う研究・勉強・交流の場を始めました. 参加者は随時募集中です.

## 2025研究テーマと就職・進路 (2026.4~)

**M2 (5名)** 古賀颯汰: プレキャスト式護床工および簡易連結構造に関する研究, 志水宏亘: 内部損傷を有する積層ゴム支承の変形性能に関する研究, 本田健昇: 高強度鋼SBHS700からなる鋼形梁の横倒れ座屈に関する研究, 吉野修平: 圧縮力を受ける異種鋼材溶接接合部材の性能評価, 劉セイ萱: 単純支持橋梁への鋼製ベローズの設置効果に関する研究 / **M1 (2名)** 川原光貴: 地震・洪水等により横荷重を受ける単純桁橋の耐荷特性と変形抑制対策に関する解析的研究, 川口恭兵: 繊維方向および板幅が異なるFRP板の引張性能に関する実験的研究 / **B4 (5名)** 石原優真: ベローズ構造の応力低減対策に関する解析的研究, 川村晴: 海上コンテナを活用した応急橋の提案に向けた検討, 早田爽人: ボルト接合された支承サイドブロックの性能評価, 前田明日香: 塗膜除去を要さない疲労き裂形状推定手法の開発, 川上敬太: Analytical Study on Mechanical Behavior of Pivot Roller Bearings Subjected to Horizontal Loads / **社D3** 中山義晴 (元熊本県): 熊本県における橋梁の保守管理マネジメントの効率化に関する研究 / **社D2 (2名)** 佐合大 (高田機工(株)): 鋼製ベローズダンパーの研究, 平原慎也 ((株) 建設技術研究所): 上部構造の温度変化による支承部挙動の研究 / **研究生 (2名)** 左晨江, 汪楚博

**就職先・進路** 九州電力(株), (株)水野建設コンサルタント, (株)横河ブリッジ, 宮地エンジニアリング(株), 熊本市役所, 西松建設(株), 熊大大学院進学3名

©Kumamoto University Structural System Lab. 教授 松村政秀・助教 渡部慎也



研究室



松村先生



渡部先生



減災部門